

# 十中だより

3月号

令和6年3月13日  
文京区立第十中学校  
校長 南 英昭

## ～体験することの大切さ～

早いもので、令和5年度も残りわずかになってきました。今年度も本校では、生徒の活動を大切にする教育活動を実施してきました。実際に体験する活動や本物に触れる活動を確保し、失われてきた活動を少しでも補完しようと、計画的に進めてきました。

修学旅行や移動教室などの宿泊行事では、現地でしか味わえない自然体験や歴史、文化に触れる機会を多く設けることができました。また、本校独自の美術館鑑賞授業、和楽器体験、プロの演奏家による室内楽演奏会などの文化的な活動やトップアスリートによる授業、ダンスパフォーマンスなどの体育的な活動も充実することができました。

コロナ禍での制限の影響だけでなく、タブレット端末の使用などによりデジタル化が進み、疑似体験や模擬体験が増えて直接体験が減っています。文部科学省の令和2年の調査でも「子どもの頃の体験がその後の成長に及ぼす効果が明らかになっています。18年間の追跡調査で、これまで直感的に捉えられていた「子どもの成長における体験活動の大切さ」を裏付ける結果となっています。キャンプやスポーツ観戦、音楽鑑賞や読書活動など多様な体験活動により、その後の成長に良い影響が見られるということが示唆されています。

学校内での活動だけでなく、地域の方にも協力いただき異年齢交流や社会体験の場も設定していただき、生徒の成長を支えていただいております。今後も体験の機会を大切にしていきたいと考えていますので、ご協力よろしく願いいたします。

### トップアスリートによる授業

3月6日（水）に現役セパタクロール日本代表の奈良輪選手、市川選手の2名を招き、全校生徒に対して特別授業を行っていただきました。セパタクロールというあまり目にすることがない競技であるため、最初に競技に関することをクイズなども含めて楽しく、そしてわかりやすくお話していただきました。また、半年ほど前に中国で行われたアジア大会のメダルやセパタクロールのボールを全員で触れる時間があり、時が進むにつれて競技への関心が高まっていきました。そして、最後には代表生徒や先生がセパタクロールを体験し、大盛り上がりの中、終わりの時間を迎えました。選手からは、競技のことだけでなく「挑戦することの大切さ」を教えてくださいました。



## ダンスパフォーマンス

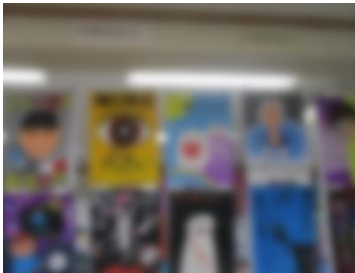
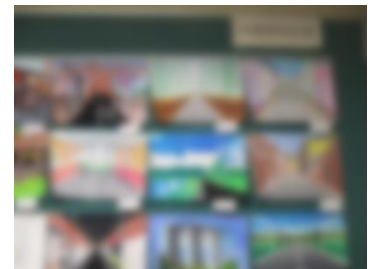
東京都の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として3月12日（火）にダンスユニット「woodpecker」の方々に演技を披露していただきました。生徒も目を輝かせ、華やかで迫力のある演技に魅了されていました。また、学年ごとにダンスを教えていただく時間も企画していただき、短い時間の中での生徒の変容や上達の早さには驚かされるものがありました。



## 学習発表会展示部門

学習発表会の展示部門として3月1日（金）から8日（金）までの期間で生徒の作品を展示・公開しました。

教科の作品や部活動の作品は、工夫を凝らし、細かく丁寧に仕上げている作品も多く感心させられました。行事関係の作品もしっかりまとめていて、大切な思い出の記録としても価値あるものになっていました。また、陳列の方法も見事で圧倒される展示会場もありました。最終日の8日は、保護者会の後にも多くの保護者の方に鑑賞していただくことができました。



## 表彰、活動報告等

活動の名称	実績・連絡・案内等
吹奏楽部	第22回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール 予選通過 全国大会出場決定(4/3)
書き初め	第63回 東京都書き初め紙上展 東京都中学校文化連盟会長賞 3年生1名

## 令和5年度学校評価

令和5年度 学校評価アンケートに関して、昨年11月に回答いただきありがとうございます。集計結果については、3月8日（金）の保護者会で配布し、説明させていただきました。欠席の方には、11日（月）お子様を通じて配布させていただきました。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。